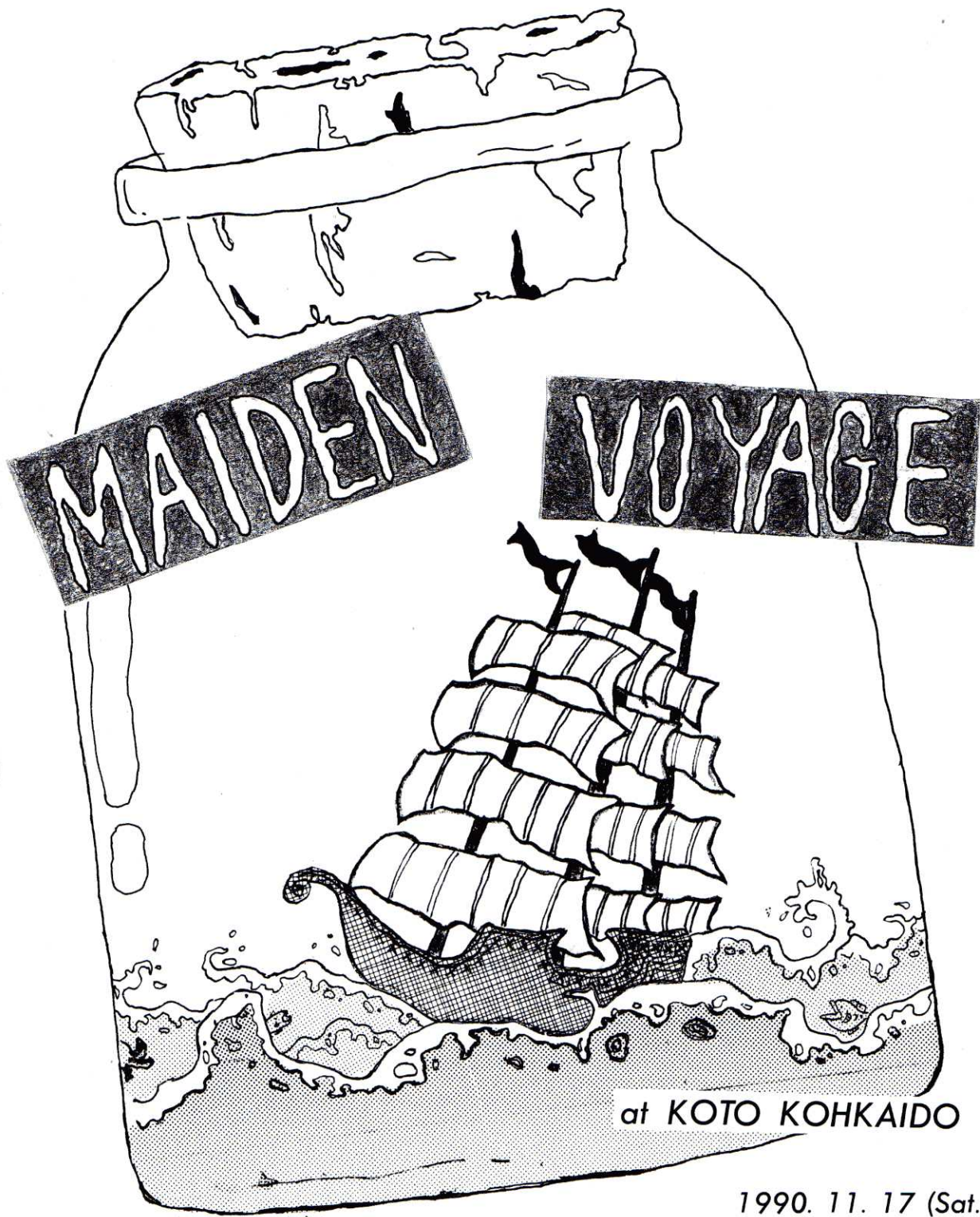


MEIJI UNIV. HARMONICA SOCIETY

NO. 117 REGULAR CONCERT



1990. 11. 17 (Sat.)



部長 北島 忠男

春の定期演奏会から半年たちました。今年は空梅雨に続いて、今までにない長い酷暑の夏を記録しました。この間に、国際的には、東西ドイツの急速な統合が達成され、イラクのクエート侵攻に対する多国籍軍の出動やイラクの人質作戦といった事件が起きました。国内では、こうした国際紛争への日本の対処の仕方を巡って自衛隊の海外派遣問題が論議の焦点になってきています。また、株価の低落傾向の中で、今年も大学卒業生の就職は売手市場となり、4年生は夏休み中に就職先を決定して、今は残り少ない学生時代を謳歌しているところです。

明治大学ハーモニカ・ソサエティーもこうした世の中の変動に囲まれながらも音楽演奏に精進を重ね、本日、第117回目の定期演奏会を開催する運びとなりました。本日の演奏会が、部員一人一人にとって良き青春の思い出となりますよう、また、ご来場の皆様にとりましても快い秋の一宵となりますよう心から祈念致しております。なお、今後ともソサエティーへの皆様の暖かいご支援をお願い申し上げます。



OB会会長 布施 荘兵衛

大正7年に成立した我が明治大学ハーモニカ・ソサエティーは、創立以来70有余年を経て今日に至ったが、これは世界でも類例のない輝かしい歴史であります。その活動範囲は、北は北海道より内地は勿論の事、四国、九州に及び、南は台湾、西は朝鮮及び中国大陸まで至る活躍をした時もありました。

今回で117回目を迎かえる定演は充実した立派なステージになることを心より念願して居りますから、大いに努力して貰うことを希望する次第であります。

本日は御多忙の処、御来場賜り厚く御礼を申し上げます。



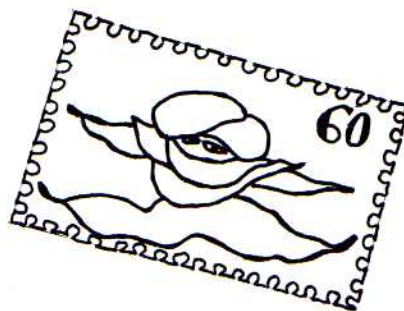
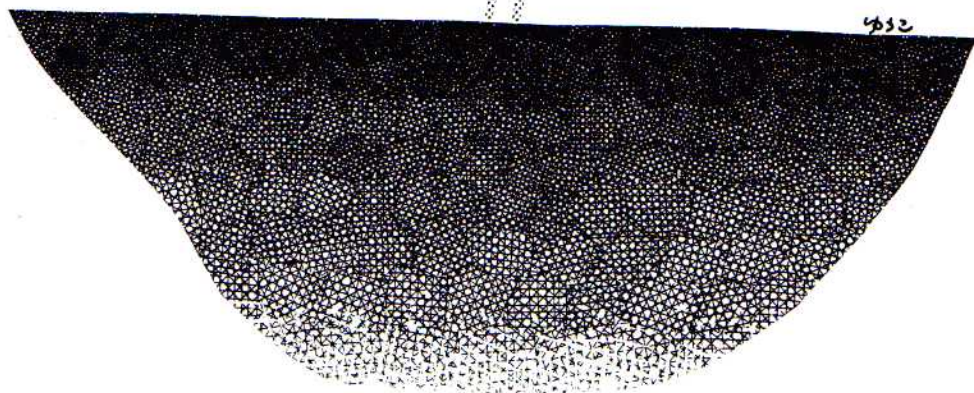
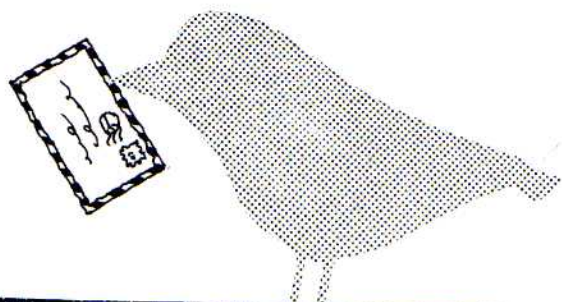
幹事長 戸田 武重

本日は御多忙の中、明治大学ハーモニカ・ソサエティー第117回定期演奏会に御来場頂き、誠に有難うございます。

秋の演奏会は、春と比べて「華やかさに欠ける」というのを、よく耳にします。しかし、秋の演奏会とは、1年生にとっては、ハモソの新しい力として、さらなる可能性を発揮するときであり、2年生は部の中堅として、また、ハモソの次代を担う者としての認識を強めるときなのです。そして、4年生は、今宵の卒業演奏を最後にハモソを去り、私達幹部は、さらに素晴らしい明大ハモソをつくるべく決意を新たにするときなのです。

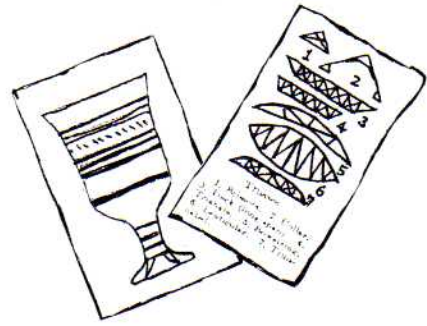
さて、そのような部員一同の熱い思いと、諸先輩方々の並々ならぬ御尽力により、今宵の演奏会を迎えることができました。かつての先輩方の輝かしい歴史に劣ることのないように、部員一同、精一杯演奏したいと思います。

最後になりましたが、この演奏会開催にあたり、御指導、御支援を賜りました諸先輩、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。



1st Stage

コロンブスが新大陸を発見したのは1492年。
残念ながら彼はそのことを気付かず、空しく“インドの香料”
“ジバングの黄金”を探索し続けました。
今宵は、その“ジバング”から世界航海へと出発しましょう。



1 銀河鉄道999

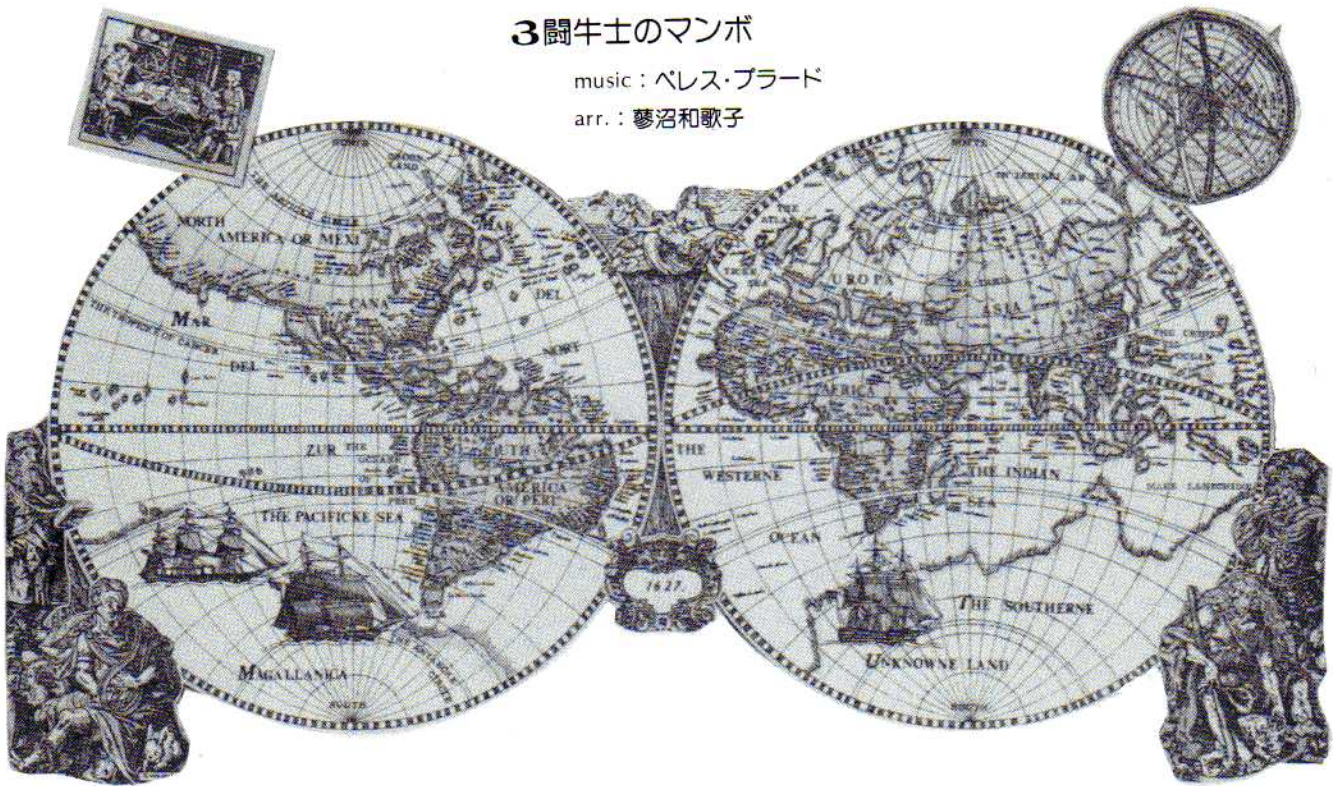
music : Godiego
arr. : 井上 貴晴

2 荒野の七人

arr. : 石井 武志

3 闘牛士のマンボ

music : ベレス・ブラード
arr. : 夢沼和歌子



4 Maculelê

music : NAZARE PEREIRA
arr. : 内田健太郎

5 China

music : 高中 正義
arr. : 村瀬 謙司



6 瑠璃色の地球

music : 松田 聖子
arr. : 渡辺 泰久

